

第2回 いきいきプラン八王子推進委員会

日 時 平成24年9月28日(金) 午後3時15分
会 場 八王子市役所502会議室

次 第

1. 委員長あいさつ

2. 議題

(1) 平成23年度計画実施状況(平成24年8月末日時点)について 資料1

3. その他

<地域福祉活動計画> 平成24年度計画実施における具体的な行動内容と取り組んだ内容(8月末時点)

No	行動項目	行動内容	計画内容				H23総括	平成24年度具体的な行動内容 (年度別活動が達成された状態、具体的な取組計画)	取り組んだ内容(平成24年8月末時点)
			H22	H23	H24	H25			
1	住民懇談会の開催	住民懇談会の開催	3ヶ所×2回	6ヶ所×2回	12ヶ所×2回	24ヶ所×2回	B	12か所 24回開催 ・町会、老人会、関係機関等が参加する包括支援センター会議、見守りネットワーク会議等への参加 ・町会自治会単位での懇談	・別紙1のとおり
2	サロン活動の拡充	高齢者サロン活動・子育てサロン活動の拡充、障害者サロンの検討・実施	80ヶ所	90ヶ所	100ヶ所	110ヶ所	A	サロン数:104団体 (高齢者90団体・子育て14団体) ・新規立ち上げ相談・支援 ・サロン支援金の交付	サロン数:98団体 (高齢者83団体 子育て15団体) ・新規立ち上げ相談支援:3件 ・サロン支援金の交付 (高齢者:6,420,000円 子育て:372,745円)
3	サロン活動の拡充	サロン活動連絡会の設置	検討	検討・開催	開催	開催	B	交流会の定期的開催と研修の実施 高齢者サロン ・包括支援センターエリアごとにサロン交流会の実施 ・全体交流会の実施 子育てサロン ・全体交流会の実施 連絡会の設置	・高齢者サロン・包括支援センターエリア交流会 → 1回(7月30日 包括めじろ) ・全体学習会 → 1回(6月27日)
4	サロン活動の拡充	ひとりぐらし高齢者昼食交流会	実施	実施	充実	充実	A	民生委員児童委員協議会20地区でひとりぐらし高齢者昼食交流会を開催 平成25年度以降のあり方を検討するために、あり方検討委員会を開催	民生委員3名と本会職員3名から構成される委員会を設置し、2回開催した。 ・対象ひとりぐらし高齢者数の増加に伴い、今後も開催経費が増大していくことが見込まれることへの対応策を検討するために、民生委員・参加者に対してアンケートを実施することを決定
5	小地域福祉活動の活性化	支えあいの仕組みづくりの検討	先進地域との情報交換実施	マニュアルづくり	啓発	啓発	B	定期的開催(3か月に1度) 啓発資料作成に向けた取り組み ・出張講座による啓発	参加団体:8団体 第3回 5月9日 テーマ:「より豊かな高齢社会を目指して」 八王子市都市政策研究所報告と意見交換 第4回 8月8日 テーマ:「団体の近況報告」
6	小地域福祉活動の活性化	ビジネス手法を取り入れた地域活動活性化の検討	検討	実施	充実	充実	B	調査研究・検討の継続 ・法政大学、市民活動支援センター、障害者団体等と引き続き検討する	

No	行動項目	行動内容	計画内容				H23総括	平成24年度具体的な行動内容 (年度別活動が達成された状態、具体的な取組計画)	取り組んだ内容(平成24年8月末時点)
			H22	H23	H24	H25			
7	地域福祉活動担い手講座などの開催	地域福祉活動入門講座の開催	検討	開催	開催	開催	B 日常生活圏域での講座の開催 ・講座のプログラムの検討 ・講師の依頼、スケジュール調整、広報等	別紙2のとおり(No. 12、27共通)	
8	地域福祉活動担い手講座などの開催	テーマ別ボランティア講座の開催	検討	開催	開催	開催	B 現行講座の継続開催 ・傾聴ボランティア講座の開催 ・精神保健ボランティア講座の開催	・傾聴ボランティア講座(基礎編) 3会場受講者合計166名 5月10日(台町市民センター)受講者:69名 5月17日(石川市民センター)受講者:37名 5月24日(南大沢市民センター)受講者:60名	
9	地域福祉活動担い手講座などの開催	世代別ボランティア講座の開催	検討	開催	開催	開催	B 現行講座の継続開催 ・青年ボランティア体験学習の開催	・青年ボランティア体験学習 期間:7月21日~8月31日 活動者合計:219名 中学生:17名 高校生:146名 大学生:49名 社会人:7名	
10	地域福祉活動担い手講座などの開催	サロン活動担い手養成講座の開催	—	検討	開催	開催	B ・新規サロン立ち上げ支援の継続 ・サロン交流会の意見から、担い手(スタッフ)の高齢化と活動のマンネリ化が垣間見えてきた面があるため、現在活動中のサロン活性化を優先した研修を開催	・6月27日 サロンスタッフ学習会 活動メニューのアイデア提供を目的に簡単にできる「健康体操」「フェルトバック作り」「新聞で創るトートバック作り」を実施。 講師:サロンスタッフ3名	
11	地域福祉活動のコーディネート機能の充実	ボランティアリーダー養成講座の開催	検討・開催	開催	開催	開催	B 2回開催 ・リーダー養成講座	・7月25日 地区リーダー茶話会 参加者:12名 内容:各地区の活動の現状報告、今後の地区活動についての意見交換	

No	行動項目	行動内容	計画内容				H23総括	平成24年度具体的な行動内容 (年度別活動が達成された状態、具体的な取組計画)	取り組んだ内容(平成24年8月末時点)
			H22	H23	H24	H25			
12	地域福祉活動のコーディネート機能の充実	地域福祉活動コーディネートの充実	人材の発掘・育成	充実	充実	充実	C	小地域福祉活動の活性化 研修の場の創出	別紙2のとおり(No. 7、27共通)
13	見守り・相談機能の充実	よろず相談の開催	—	検討	年6回開催	年12回開催	C	内容の検討	
14	防災への取組	防災福祉マップづくり	—	検討	実施	実施	C	中野町甲和会防災マップ改訂への参加	
15	防災への取組	地域防災訓練の開催	—	検討	実施	実施	C	住民懇談会のテーマとして検討 ・八王子市総合防災訓練への参加	・8月18日 加住地区町会自治会連合会主催「加住地区防災訓練」へ参加
16	災害時支援	災害時支援ボランティアコーディネーターの育成	継続	継続	継続	継続	B	研修会の開催 ・八王子市総合防災訓練への参加 ・研修会の開催	・災害時ボランティア支援センター運営検討会議(事務局職員7名) 第1回 8月8日 第2回 8月30日

<社協発展・強化計画>

17	社協会員制度	会員会費を徴収した地域圏に一定割合を還元	検討・規程整備	実施(2地区)	実施(4地区)	C	会員会費の用途を見えやすくし、市民にとって理解されやすい・加入しやすい会費制度づくり ・理解されやすく加入しやすい会費制度に向け事務局レベルで準備 ・必要に応じて外部委員による委員会の設置・運営 ・具体的な推進方法、体制や影響の検討 ・関係団体等の調整	平成24年8月に事務局内に職員12名による「会員会費あり方検討委員会」を立ち上げ、これからの会費制度について検討中。 第1回 8月21日 新規開拓を含め、個別に依頼の説明の必要な団体をリストアップすることを決定。
18	社協会員制度	団体及び企業会員区分の新設	検討・規程整備	実施(H22対比、10%増)		C	団体・企業会員会費制度づくり ・理解されやすく・効果がある・加入しやすい法人会員制度に向け事務局レベルで準備 ・必要に応じて外部委員による委員会の設置・運営 ・具体的な推進方法、体制や影響の検討 ・関係団体等の調整	上記同じ

No	行動項目	行動内容	計画内容				H23総括	平成24年度具体的な行動内容 (年度別活動が達成された状態、具体的な取組計画)	取り組んだ内容(平成24年8月末時点)
			H22	H23	H24	H25			
19	理事会・評議員会のあり方	新任理事・評議員への研修体系の確立	検討・研修体制整備・実施		充実		A 自立した経営体制や市民ニーズに則した運営体制づくり ・役員(理事・評議員会)の改選 ・新任役員の新研修開催	・本会役員の改選に際して、8月16日「役員・評議員研修会」を開催 参加者:役員14名・評議員32名 研修内容:東京都社会福祉協議会 地域福祉部 松田京子部長より「社会福祉協議会の役割と今後の課題について」講演いただくとともに、事務局より八王子社協の概要や高齢者の現状を説明した。	
20	理事会・評議員会のあり方	議論の活性化	検討・実施		充実		A 自立した経営体制や市民ニーズに則した運営体制づくり ・引き続き、分かりやすい資料提供や説明を行ない、評議員が議論しやすい環境整備を行なう。(事務局・議長段階) ・必要に応じて活性化の検討(三役会・理事会・評議員会) ・意見の集約、対応策の検討、提案(三役会・理事会・事務局) ・取組の実施(評議員会)	・理事会・評議員会の開催に際して、1週間前を目途に可能な限り資料を事前送付した。また、作成した資料は分かりやすいものに努めた。 第1回理事会・評議員会 5月30日開催 5月24日資料送付 第2回評議員会 7月23日開催 7月18日資料送付 第2回理事会 8月16日開催 8月8日資料送付	
21	理事会・評議員会のあり方	理事・評議員会の選出区分や選任数の見直し	検討・関係団体との調整		必要に応じ実施		B 自立した経営体制や市民ニーズに則した運営体制づくり ・次期役員改選に向け検討 ・学識経験者の枠を減らし、個人的かかわりから団体からの推薦方式に切り替えを目指し、継続的な理事会・評議員会の運営を目指す。	・本会役員の改選に際して、市民の声が反映される役員構成であるかを改めて確認いただいた。 7月23日開催 第2回評議員会	
22	理事会・評議員会のあり方	経営管理理事の見直し	検討・関係団体との調整		必要に応じ実施		C 自立した経営体制づくり ・自立した経営体制づくりの検証(事務局段階において他地区の状況把握や検証) ・必要に応じて八王子市と協議 ・必要に応じて予算要望		
23	部会・委員会等のあり方	地域福祉推進協議会の設置や部会の再編	検討・規程整備	開催(2地区)		開催(4地区)	B 地域福祉推進協議会設置 ・設置すべき地域福祉推進協議会の形態についての検討 ・各圏域の地域特性や福祉活動の実態、ニーズの把握 ・圏域内の福祉ネットワーク化	別紙2のとおり	
24	指定管理者制度への対応	本会における指定管理者制度受託のあり方検討委員会の新設	検討・規程整備	設置答申(恩方・長房)	実施		— 次期選定2年前に設置する検討委員会に向けて情報収集		
				平成23年4月19日開催委員会において、平成23年度中の設置答申は行わないと決定					

No	行動項目	行動内容	計画内容				H23総括	平成24年度具体的な行動内容 (年度別活動が達成された状態、具体的な取組計画)	取り組んだ内容(平成24年8月末時点)
			H22	H23	H24	H25			
25	新たな事務局体制	事務局体制の改編及び現行事業の見直し	検討・規程整備 ・実施(地域福祉推進課設置)	充実			C	委託事業の展開に際し、総合的な専門職に関するラインの統一化を図ると共に、各業務の見直しを図る必要性を市担当所管課とも調整をし方向性を見出す ・共通課題に対する確認と指導・指針の統一化	本計画に則ると事務局は更に地域福祉推進課を充実する内容となっている。但し、現ボランティアセンターの建造物もその耐用年数をはるかに超え、内部回収工事も構造上の問題点も専門家の指摘を受ける必要がある。将来的な設計図を現状で判断出来かねる点もあり、改編に向けては慎重に進めるためにも時間がかかると思われる。現行事業は検討会や実行委員会形式の導入で対応、更に各事業ごとにアンケートにて今後の事業の見直しを進めている。24年度の各アンケートの結果を持って関連機関との調整を図ることとする。
26	新たな事務局体制	コミュニティソーシャルワーカーの任命	実施(モデル地区)	実施(1地区)	実施(4地区)	充実	A	地域福祉活動の活性化 ・設置すべき地域福祉推進協議会の形態についての検討 ・各圏域の地域特性や福祉活動の実態、ニーズの把握 ・圏域内の福祉ネットワーク化	別紙2のとおり
27	新たな事務局体制	地域福祉活動推進員の配置	検討・実施(モデル地区)	実施(1地区)	実施(4地区)	充実	C	具体的検討と配置 ・役割、地域福祉推進協議会との関係性の検討 ・リーダー養成講座 ・講座のプログラムの検討 ・講師の依頼、スケジュール調整、広報等 ・講座の開催 ・町会自治会、ボランティアグループ等との協議継続	・先進地区の視察 7月4日 西東京市と社協が運営する「ほっとネット推進員」研修会へ参加 ・別紙1のとおり(No. 7,12 共通)
28	権利を擁護する体制の確立	権利擁護(含む成年後見支援)センターの設置	検討・規定整備 ・設置・実施	充実			C	八王子市と協議(担当所管の変更予定のため)	
29	権利を擁護する体制の確立	後見監督業務の実施	検討	要領等の整備実施	充実		A	・市民後見人候補者のフォローアップ研修の引き続き実施 ・法人後見監督事業の実施	・市民後見人候補者のフォローアップ研修の引き続き実施 ・法人後見監督事業の実施(4月に1件 6月に2件の市民後見人が受任したため)
30	権利を擁護する体制の確立	他界後の事務支援の検討	検討	必要に応じ実施			C	他界後の事務支援の検討 ・八王子市と協議	

No	行動項目	行動内容	計画内容				H23総括	平成24年度具体的な行動内容 (年度別活動が達成された状態、具体的な取組計画)	取り組んだ内容(平成24年8月末時点)	
			H22	H23	H24	H25				
31	事務局拠点のあり方	拠点のあり方について検討	検討・提案	必要に応じ実施				C	市民が「相談しやすい」、「利用しやすい」場所に事務局拠点を移設する方向性を打ち出す ・ボランティアセンターとの一体化を八王子市へ要望	
32	人材育成の仕組みづくり	研修制度の充実	検討・整備・実施	充実				B	全職員が一定の人材育成の方向性に基づく研修体系の整備化・実施 ・社協検討会や各担当内ミーティングの実施 ・昼窓や繁忙期の共同作業の実施 ・担当を超えたOJTの実施 ・効果的な研修体制の体系化検討・実施 ・職員の資格取得の奨励(職免制度の活用) ・職員情報のデータベース作成	
33	人材育成の仕組みづくり	共に育つ職場づくり	検討・整備・実施	充実				B	共に育つ職場づくりの基礎作り ・社協検討会や各担当内ミーティングの実施 ・昼窓や繁忙期の共同作業の実施 ・担当を超えたOJTの実施	進行中の担当を超えたプロジェクト ・広報委員会 ・会員会費あり方検討委員会 ・長寿を祝う会 ・受賞式
34	人材育成の仕組みづくり	人事管理	検討・関係団体との調整	必要に応じ実施				B	業務遂行上、その必要性を図るため、内容、業務は専門性を鑑みて、融資格者の採用を今後も検討していく。多方面との調整には制度、サービス、関連法の知識は必要不可欠で、さらに自己研鑽とスキルアップを図ることとする。	社協の持つ機能は、より福祉の充実の為、利用者や対象者の状況を把握し、適宜対応を速やかに図る必要が有る為、更に個人のスキルアップにつながる対応を図らなければならない。よって専門分野における職員の研修会等への参加は積極的に行っており、更なる知識や理論を学ぶため、各ラインでの学習会等での参加も促している。 → 実施中である。
35	財務	「特定寄付制度」「メモリアル寄付」の創設やメニューづくり	検討・整備・実施	充実				A	寄付者の意向が伝わる寄付制度づくり ・今後も寄付者の意向が伝わりや時代のニーズにそくした特定寄付制度の提案や実施 ・寄付するきっかけにつながる寄付制度(メモリアル・香典返し)の実施 ・市民等から提供申し出のあった物品や寄付品の福祉施設などへのマッチングの実施 ・寄付のメニュー化や税控除など市民に分かりやすく広報 ・時代に即した寄付受入や実施体制の検討・整備	

No	行動項目	行動内容	計画内容				H23総括	平成24年度具体的な行動内容 (年度別活動が達成された状態、具体的な取組計画)	取り組んだ内容(平成24年8月末時点)
			H22	H23	H24	H25			
36	財務	身近に気軽に寄付・募金できる環境整備	検討・整備・実施	充実		B	<p>身近に気軽に寄付・募金ができる環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄付者の意向が伝わる特定寄付制度の実施 ・寄付するきっかけにつながる寄付制度(メモリアル・香典返し)の実施 ・市民等から提供申し出のあった物品や寄付品の福祉施設などへのマッチングの実施 ・寄付のメニュー化や税控除など市民に分かりやすく広報 ・市民が主体的に実施する募金活動の支援 ・時代に即した寄付受入や実施体制の検討・整備 		
37	財務	住民が主体的に募金するシステム構築	検討・関係団体との調整	再構築	充実	B	<p>赤い羽根共同募金地区配分推せん委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会の開催 		
38	財務	事業収入の強化	検討・関係者との調整	必要に応じ実施	充実	C	<p>本会事業収入の適正価格への移行準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行の事業収入の現状検討(適正化) ・早急に適正化が必要な事業収入の選定 ・必要に応じて適正化に必要な手続きの検討 ・必要に応じて利害関係者との調整 		
39	財務	収益事業の拡大	検討・関係団体への働きかけ	実施		B	<p>自己財源の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自販機・証明写真機設置事業の拡大を検討 ・その他、財源確保につながる収益事業の研究 ・必要に応じて実施方法の検討・整備 ・自動販売機設置事業の更新入札準備 ・自動販売機設置事業の更新入札の実施 	8月4日より初めて民有地(榎原町)に本会管理の飲料水自動販売機を設置する。	
40	財務管理	内部けん制の強化	検討・規程整備	実施	充実	A	<p>適切な事務執行体制の確立に努め、市民から信頼される社協づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監事による決算監査の実施(5/21) ・不祥事故防止体制の充実 ・事務局内部による月例監査の実施 	事務局内部による月例監査の実施(7月まで)	
41	財務管理	情報公開の強化	検討	実施	充実	B	<p>透明性の高い社協づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の代表者である理事・評議員に詳細な運営状況の情報提供の実施 ・市民に主要な運営状況の情報提供の実施(社協だより・HPなど) 	7月1日号社協だよりにて平成23年度事業報告・決算及び平成24年度事業計画・予算を掲載する。	
42	財務管理	トップマネジメント力の強化	検討・関係団体との調整	必要に応じ実施		B	<p>補助金対応の流れに自主財源の確保が低迷しているため、社協本来の自主事業の展開に際し、別途社協会員会費のあり方検討委員会をも含め、方針、方向性を見出す。尚、公共債の安全且つ収入益を効率的に組織運営にあてる。</p>		

平成24年4月～8月 6圏域の動き及び出された意見等

	日にち	参加会議等	内容および社協の関わり 出された主な意見等
中央	5/30 6/9 8/25	元本郷なごみ会役員会等	○サロン立ち上げ支援 …町会主体でサロン活動を立ち上げたい。サロンの目的、効果、活動例 支援金の使途等の説明 ・元本郷なごみ会 世帯数約150世帯 高齢化率27%(元本郷2丁目) 立上げの動機:子どもから高齢者まで広く地域交流の場としたい。 ○8/25 元本郷なごみサロン開店日参加
	8/14	地域包括支援センター子安との打ち合わせ	○新設支援センターとの連携について …いきいきプランの推進における協力依頼、意見交換 ・「いきいきプランの説明」 ・サロン活動の拡充への協力依頼 ・支援センター主催の会議への参加要請 (意見交換) ・サロン活動の推進については、立ち上げ以降日常的なかかわりが社協は薄いので、運営支援をより積極的にお願したい。 ・会議の参加は、会議の位置づけによって参加依頼する考えである。
北部	6/10	丸山町滝山台自治会役員会	○丸山町を中心とした地域の支えあい活動の立上げについて …滝山台クラブ(老人会)との懇談を経て、地域の高齢者をサポートする仕組みを提案 (懇談の結論) ・自治会と社協が協力して高齢化対策を検討する。 ・手始めに、ボランティア講座を社協主導で丸山町、久保山町、平町住民対象に実施する。 ・実施時期は、自治会の夏祭りが終わった秋から冬にかけてを第1候補とする。
	8/18	加住地区防災訓練(14町会)	○加住地区防災訓練 …地震発生から各町会による安否確認状況の把握、加住地区災害対策本部 立ち上げ、災害の情報伝達方法等の訓練 ・参集訓練 …徒歩または自転車、バイクによる会長自宅～市民センター(災対本部)への 参集訓練 ・炊き出し機材や投光器等の所有資機材の展示と実演 ・加住小サタデースクールと合流し避難訓練 ・消防団のサポートによる消火訓練 ・消防署員による災害時状況予測訓練 ・社協の取り組みとして、災害ボランティアセンターの立上げと運営について 概略説明
西南部	7/30	シルバーふらっと相談室館ヶ丘との情報交換	○シルバーふらっと相談室、自治会の近況等の情報交換・シルバーふら っと相談室の活動 ・高齢者向け総合相談 ・希望者に対する見守り活動(学生ボラ2名1組で行う) ・地域情報(サークル、サロン、講座等)の発信 ・カフェ(日30～40名来店)
	8/8	地域包括支援センター長房との情報交換	○地域包括支援センター長房の近況等の情報交換 ・支援センター会議は開催するかは不透明。 ・昨年の震災時は都営住宅(集合住宅)のエレベーターが止まり、高齢者 を避難させるのが大変だった。 (今後に向けて) ・集合住宅特有の避難方法の課題点を整理できる学習会又は講演会を 地域住民と一緒に企画・実施することを共通の目標にする。
	8/30	包括めじろ地区サロン交流会	○情報交換会 ・誕生会を取り入れて以降、参加者が増加の傾向 ・課題は会場が手狭なこと ・スタッフが段取りをするのではなく、自主的な茶話会への移行が今後の 検討課題 ・サロンをできそうな空家を探している ・常設サロンを望む利用者もあり

	日にち	参加会議等	内容および社協の関わり 出された主な意見等
西部	8/23	川口地区町会自治会連合会長への協力依頼	○川口地区町会自治会連合会における赤い羽根共同募金配分先見学を モデルとして川口地区にて行うことの相談、協力依頼
東南部	5/7	サロン立ち上げについて説明	○サロンの立上げ支援 …長沼町会館ですでに数回お茶のみをやっており、サロンにするにはど のようにすればよいか。 ・運営のポイントや支援金についての説明 ・近隣サロンの様子などを案内
	6/26 8/28	サロン立ち上げについて説明	○サロンの立上げ支援 …長沼日邸自治会館で2年前から健康体操を中心に約15名が月に2回 集まっている。今後、サロンにするにはどのようにすればよいか。 ・運営のポイントや支援金についての説明 ・近隣サロンの様子などを案内 ・10月9日を第1回目とし、毎月第2火曜日 10～12時開催 ・名称:長沼サロン「おもたか」
	8/27	片倉町会・みなみ野4丁目町会 会員会費依頼説明	○社協の概要説明および募集事務への協力依頼 ・会員加入が低いので社協のほうでもっとPRしてほしい(片倉) ・赤い羽根や歳末助け合いとの違いがわかりづらい(みなみ野) ・会員のメリットがない(みなみ野) ・以前民生委員が会費を集めていたがなぜ町会に移したのか(みなみ野)
東部	4/24 6/20	南大沢住民の拠点づくり に関する打ち合わせ (柏木小学校 南大沢中学校 南大沢小学校)	○学校運営協議会会長と共に、地域開放室の活用について各学校長を交え意 見交換 (柏木小学校) ・小学校を地域住民が入り出できる場としていきたい ・まずは月に一回地域開放室を利用し子育てサロンを行う ・主な担い手の方たちに、運営のポイントや支援金について説明 (南大沢中学校) ・ボランティア活動を活発に行いたい ・地域開放室が4階という課題がある ・年に数回でも、何かテーマを決めて「学習茶話会」を開催してはどうか (南大沢小学校) ・今年度中に一度、高齢者の集まりを行いたい ・併設の南大沢西学童(社協)と連携ができれば高齢者と子供の交流ができる
	4/28	陽光台サロン(大塚)	○小地域福祉活動の説明 …社協で「小地域活動団体情報交換会」を開催していることを知り、市内 他地域の小地域活動について聞きたいとの要請を受け参加 ・「ご近所同士の支え合い～市内小地域福祉活動の実践例～」について 話し、その後意見交換

日にち	時間	参加会議・イベント名(主催) 場所:	内容および社協の関わり 出された主な意見等	同席
5/30	14:00 ～ 14:30	元本郷なごみ会町会長との 打ち合わせ 場所:ボランティアセンター	○サロン立ち上げ支援 …町会主体でサロン活動を立ち上げたい。サロンの目的、効果、活動例、支援金の使途等の説明 ・元本郷なごみ会 世帯数約150世帯 高齢化率27%(元本郷2丁目) 立ち上げの動機:子どもから高齢者まで広く地域交流の場とした い。	
6/9	19:00 ～ 19:30	元本郷なごみ会役員会 場所:町会会館	○サロン立ち上げ支援 …サロンの目的、効果、活動例、支援金の使途等の説明 ・開始時期:8月 ・場所:町会会館	
8/14	13:00 ～ 14:00	地域包括支援センター子安 との打ち合わせ 場所:地域包括支援セン ター子安	○新設支援センターとの連携について …いきいきプランの推進における協力依頼、意見交換 ・「いきいきプランの説明」 ・サロン活動の拡充への協力依頼 ・支援センター主催の会議への参加要請 〈意見交換〉 ・サロン活動の推進については、立ち上げ以降日常的なかかわりが社協は薄いので、運営支援をより積極的にお願いしたい。 ・会議の参加は、会議の位置づけによって参加依頼する考えである。	包括子安 5名
8/25	17:00 ～ 19:00	元本郷なごみサロン(開店) 場所:町会会館	○サロン開店日 …会館建設1周年記念と合同でサロン発足式を実施 ・町会長のあいさつ ・社協地区担当職員によるあいさつ ・月1回土曜日を基本に定期開催	

日にち	時間	参加会議・イベント名(主催) 場所:	内容および社協の関わり 出された主な意見等	同席
6/10	19:00 ～ 20:00	丸山町滝山台自治会役員会 場所:自治会館	<p>○丸山町を中心とした地域の支えあい活動の立上げについて …滝山台クラブ(老人会)との懇談を経て、地域の高齢者をサポートする仕組みを提案</p> <p>〈高齢者サポート活動に関する町会の状況〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員改選後、町会長と老人会会長が意見交換した際も、買い物が大変なことの話しがあった。 ・自治会総会でも高齢化への対策が提議され、今年度の検討事項として扱われた。 <p>〈懇談の結論〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会と社協が協力して高齢化対策を検討する。 ・手始めに、ボランティア講座を社協主導で丸山町、久保山町、平町住民対象に実施する。 ・実施時期は、自治会の夏祭りが終わった秋から冬にかけてを第1候補とする。 	民生委員 1名
7/11	14:00 ～ 15:30	支えあいのネットワーク左入 場所:包括左入会議室	<p>○認知症とともに暮らせるまちづくりについて …認知症を地域の方に知っていただくための包括左入の取り組みと参加者相互の意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・包括の取り組みとして、認知症サポーター養成講座を実施。近況では多摩信用金庫職員に対して全支店で実施。他中学生向けの講座も実施した。 ・多摩信は市民に馴染みがある。多摩信の会場を利用して市民対象の講座を開催を打診してみてもいいか。 ・本人または家族が認知症(または認知の傾向)を受け入れないケースについて、どのような対応をしていけたらよいか、など民生委員の事例が紹介され意見交換 	
7/25	14:00 ～ 15:30	地域包括支援センター左入 ケア会議 場所:包括左入会議室	<p>○包括左入エリアのインフォーマルサービスについて …インフォーマルサービス(高齢者支援ボランティア)の状況報告と意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロン活動やみつい台の支えあい活動の様子等を説明 <p>〈質疑意見交換〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員 …サロン活動について、高齢者の見守り、体調等の変化を確認できる場として有効 ・医師 …ボランティア活動はそもそも個人の自由意思で行う活動。組織的な活動も大切だが、具体的な活動を見聞きしていないので、インフォーマルサービスがどのように有益なのか自分にはわからない。 ・施設関係者 …利用者がサロンに参加させていただいている。毎回楽しみにしている。施設として近所の方が厚意でボランティアに来ていただいているが、どのようなことをお願いしたらいいか悩んでしまう。 ・病院関係者 …レクなどでボランティアをお願いするケースはある。ボランティアの支援が病院内でどのような効果を及ぼすか検討したい。またどんな活動があるのか機会をみて相談したい。 <p>〈まとめ〉 ボランティアの方や団体は、地域内の専門機関からの学習の機会や情報提供を求めている。本日参加いただいている方々は、それぞれの分野の専門家であるので、福祉に関する地域力向上のために力添えを依頼</p>	

8/18	8:00 ~ 12:00	<p>加住地区防災訓練 場所:加住市民センター</p>	<p>○加住地区防災訓練(14町会) …地震発生から各町会による安否確認状況の把握、加住地区 災害対策本部立ち上げ、災害の情報伝達方法等の訓練 ・参集訓練 … 徒歩または自転車、バイクによる会長自宅～市民 センター(災対本部)への参集訓練 ・炊き出し機材や投光器等の所有資機材の展示と実演 ・加住小サタデースクールと合流し避難訓練 ・消防団のサポートによる消火訓練 ・消防署員による災害時状況予測訓練 → 社協職員は加住町会長宅より同行し、すべての訓練に参加 また、災害時の社協の取り組みとして、災害ボランティアセン ターの立上げと運営について概略説明を実施 <今後の検討事項> 広域な市域をカバーする上で、災害ボラセンのサテライト設置は 要検討事項。各地域の防災対策について情報収集が今後必要</p>	
------	--------------------	---------------------------------	---	--

日にち	時間	参加会議・イベント名(主催) 場所:	内容および社協の関わり 出された主な意見等	同席
4/18	13:30 ～ 14:30	サロン上宿打合せ 場所:浅川市民センター	○サロン活動支援金申請に向けた打合せ ・里山に関するビデオをサロンで上映してみたい ・介護保険制度に関する講話を取り入れたい	
7/24	14:00 ～ 15:00	ぶんこサロン打合せ 場所:ボランティアセンター	○ぶんこサロン立ち上げに向けた打合せ 確認した事項 ・オープニング日程:8月11日 ・サロン開催概要 開催日程 毎月第2土曜日の午前 会場 狭間住宅集会所 会費 100円	
7/30	14:00 ～ 15:00	シルバーふらっと相談室館ヶ丘 場所:シルバーふらっと 相談室館ヶ丘	○シルバーふらっと相談室、自治会の近況等の情報交換 ・シルバーふらっと相談室の活動 高齢者向け総合相談 希望者に対する見守り活動(学生ボラ2名1組で行う) 地域情報(サークル、サロン、講座等)の発信 カフェ(日30～40名来店) ・館ヶ丘団地自治会 自治会長の交代があった	
8/2	14:00 ～ 15:00	新地町会サロン支援説明 場所:ボランティアセンター	○新地町会関係者へのサロン支援の説明 ・現在、新地町会で活動するゲートボール部(元々、老人会の活動であったが、老人会解散後に活動自体が独立したもの)のメンバーが主体となって実施する茶話会が社協サロン活動に該当するか	
8/8	13:30 ～ 14:15	地域包括支援センター長房 場所:地域包括支援センター長房	○地域包括支援センター長房の近況等の情報交換 ・支援センター会議は今年度より市の委託仕様から除外されたため、開催するかは不透明 ・昨年の震災時は都営住宅(集合住宅)のエレベーターが止まり、高齢者を避難させるのが大変だった 今後に向けて ・集合住宅特有の避難方法の課題点を整理できる学習会又は講演会を地域住民と一緒に企画・実施することを共通目標にする	
8/8	15:00 ～ 15:30	地域包括支援センター寺田 場所:地域包括支援センター寺田	○いきいきプラン推進等への協力依頼 ・新設の地域包括支援センター寺田への計画概要説明、協力依頼	
8/11	13:00 ～ 15:30	ぶんこサロン 場所:狭間町住宅集会所	○ぶんこサロンオープニング 参加者数 29名	包括高尾 1名

8/30	13:40 ~ 15:00	包括めじろ地区サロン交流会 場所:山田町会館	<p>○地域包括支援センターめじろ主催のサロン交流会 出席団体:風の会茶話室、ふれあいサロンけやき、めじろ 台安心ねっとふれあいサロン、山田こぶしの会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誕生会を取り入れて以降、参加者が増加の傾向 ・課題は会場が手狭なこと ・スタッフが段取りをするのではなく、自主的な茶話会への移行が今後の検討課題 ・サロンをできそうな空家を探している ・常設サロンを望む利用者もあり 	包括めじろ 2名
------	---------------------	---------------------------	--	-------------

日にち	時間	参加会議・イベント名(主催) 場所:	内容および社協の関わり 出された主な意見等	同席
8/23	9:00 ～ 11:00	共同募金配分先見学実施 に伴う協力依頼 場所:川口地区町会自治会 連合会会長宅	○川口地区町会自治会連合会における赤い羽根共同募 金配分先見学をモデルとして川口地区にて行うことの 相談、協力依頼	

日にち	時間	参加会議・イベント名(主催) 場所:	内容および社協の関わり 出された主な意見等	同席
5/7	16:00 ～ 17:00	サロン立ち上げについて 説明 場所:包括長沼会議室	○サロンの立上げ支援 …長沼町会館ですすでに数回お茶のみをやっており、サロンにするにはどのようにすればよいか。 ・運営のポイントや支援金についての説明 ・近隣サロンの様子などを案内	包括長沼 1名
6/26	11:30 ～ 12:00	サロン立ち上げについて 説明 場所:長沼日邸自治会館	○サロンの立上げ支援 …長沼日邸自治会館で2年前から健康体操を中心に約15名が月に2回集まっている。今後、サロンにするにはどのようにすればよいか。 ・運営のポイントや支援金についての説明 ・近隣サロンの様子などを案内	包括長沼 1名
7/6	10:00 ～ 12:00	16-2地区民生委員交流会 (包括片倉センター支援会議) 場所:包括片倉	○西片倉町、みなみ野、七国、兵衛、宇津貫町民生委員との情報交換 ・包括圏域の変更など、包括より情報提供 ・地域の課題について →七国は新しい住宅の地図がなく、住民同士でもわからない →西片倉2.3丁目に若い方が増えている	包括片倉 4名
7/23	14:00 ～ 16:00	16-1地区民生委員交流会 (包括片倉センター支援会議) 場所:包括片倉	○小比企町、片倉町(東急片倉台を除く)民生委員との情報交換 ・包括圏域の変更など、包括より情報提供	包括片倉 4名
7/28	16:00 ～ 20:00	片倉台夏祭り 場所:片倉台小学校	○片倉台夏祭りへの参加 …社協・ボランティアのPRのため、バザー品やボランティアの手作り品の販売	
8/9	10:30 ～ 12:00	片倉台高齢者見守り ネットワーク運営会議 場所:片倉台自治会館	○社協より会員会費の協力依頼 ・社協のPRをしもっと啓発普及した方が良い ・集金しやすい状況を作ることも大切 ・片倉台自治会として災害時要援護者の名簿を作成し、支援体制の検討をはじめている	包括片倉 2名
8/27	19:00 ～ 19:30	片倉町会 社協会員会費依頼説明 場所:片倉記念館	○社協の概要説明および募集事務への協力依頼 ・会員加入が低いので社協のほうでもっとPRしてほしい	
8/27	19:00 ～ 19:30	みなみ野4丁目町会 社協会員会費依頼説明 場所:みなみ野シティ会館	○社協の概要説明および募集事務への協力依頼 ・赤い羽根や歳末助け合いとの違いがわかりづらい ・会員のメリットがない ・以前民生委員が会費を集めていたがなぜ町会に移したのか	

8/28	11:00 ～ 12:00	<p>サロン立ち上げについての 打ち合わせ</p> <p>場所:長沼日邸自治会館</p>	<p>○サロンの立上げ支援</p> <p>…近隣のサロンをいくつか見学に行き、10月からサロンを立ち上げる事となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第二火曜日 10～12時で開催決定 ・長沼サロン「おもだか」に名称を決定 ・10/9(火)を第一回目の開催日とする 	
------	---------------------	--	--	--

日にち	時間	参加会議・イベント名(主催) 場所:	内容および社協の関わり 出された主な意見等	同席
4/28	13:30 ～ 15:10	陽光台サロン 場所:陽光台自治会館	○小地域福祉活動の説明 …社協で「小地域活動団体情報交換会」を開催していることを知り、市内他地域の小地域活動について聞きたいとの要請を受け参加 ・「ご近所同士の支え合い～市内小地域福祉活動の実践例～」について話し、その後意見交換	
4/24	10:00 ～ 12:00	南大沢住民の拠点づくりに関する打ち合わせ 場所:柏木小学校 南大沢中学校 南大沢小学校	○学校運営協議会会長と共に、地域開放室の活用について各学校長を交え意見交換 〈柏木小学校〉 ・小学校を地域住民が出入りできる場としていきたい ・まずは月に一回地域開放室を利用し子育てサロンを行う ・主な担い手の方たちに、運営のポイントや支援金について説明 〈南大沢中学校〉 ・ボランティア活動を活発に行いたい 〈南大沢小学校〉 ・今年度中に一度、高齢者の集まりを行いたい ・併設の南大沢西学童(社協)と連携したものができれば高齢者と子供の交流ができる	
5/29	10:00 ～ 11:30	子育てサロン 柏木小おきな木初回開催 場所:柏木小 地域開放室(そよかぜ)	○サロン初回開催日 ・絵本の読み聞かせや新聞ちぎり遊びなどを行った ・近隣保育園の園児の参加もあり ・学校運営協議会小倉さん、副校長先生も参加	
6/20	10:00 ～ 11:30	南大沢住民の拠点づくりに関する打ち合わせ 場所:南大沢中学校	○南大沢中学校地域開放室の活用方法についての打ち合わせ ・地域開放室が4階という課題がある ・年に数回でも、何かテーマを決めて「学習茶話会」を開催してはどうか	
6/21	13:30 ～ 15:30	地域包括支援センター堀之内包括ケア会議 場所:由木中央市民センター	○地域マップ作りへの参加 ・地域の情報をまとめたマップ作りを行うため、地域の社会資源をもちより情報交換	包括堀之内 2名

北部圏域(丸山町中心)の支えあいのボランティア講座(仮称) 企画案

○目的

自治会、老人クラブ、民生委員、包括支援センター、社協が連携し、住民どうしの支えあいの仕組みづくりを視野に、地域密着型のボランティア講座を開催する。

○講座開催の背景

★丸山町の様子

八王子の東北部に位置し、大規模造成住宅地として入居当初より約 40 年が経過している。その立地は高台で坂も多く、またバスも住宅内に路線が無いなど交通アクセスにやや難点があることから、高齢者にとって外出の妨げとなる条件が見受けられる。老人クラブとの話し合いの中から日常の買い物に不便を感じている、という声も上がっている。

また、H24 年度の自治会総会で、自治会内の高齢化について提議があり、地域内において高齢者への何らかのサポートの必要性が期待されている。

高齢化率:約 33% (H24.3 末) (町別年齢別人口から H30 には高齢化率 40%が予測される。)

○役割分担

★丸山町滝山台自治会(久保山町・平町)、滝山台クラブ(老人クラブ)、民生委員

・広報(回覧、掲示板への掲示、口コミ、お誘い等)、講座会場の確保

★社協、包括左入

・チラシの作成、講座内容の企画、講師の手配等講座全般の運営

・経費負担(社協)

○講座内容の骨子

★日程:11 月から 2 月までの間 (自治会の活動を優先)、曜日、時間は相談 4 日間

★内容 : 全体を通じて講座出席者参加型の講座とする。

・構成

テーマ	講師・話題提供者(予定)
「八王子市の高齢化の様子、私たちの町の様子を知り、語りあう」	八王子市都市政策研究所 社協・包括職員
「地域福祉、小地域福祉活動の必要性と手法」	大学講師
「小地域福祉活動の実践事例の紹介と意見交換」	みつい台ふれあいの会 片倉台福祉ネットワーク
「今後の活動に向けた意見交換と仕組みづくり」	社協・包括職員